

作成日 2022/12/15

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 プラクリン
供給者の会社名称 株式会社星プラスチック
住所 栃木県大田原市蛭田2267
担当部門 樹脂課
電話番号 0287-98-2157
FAX番号 0287-98-2152
メールアドレス j-hoshipla@hoshipla.co.jp
推奨用途 パージ剤

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 皮膚腐食性／刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肺)
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
皮膚刺激
強い眼刺激
長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害のおそれ

注意書き
安全対策

取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

応急措置

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

保管
廃棄

換気の良い場所で保管すること。
内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報
化学物質・混合物の区別

混合物

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS登録番号 |
|---|-------------|---|----------|-----|------------|
| | | | 化審法 | 安衛法 | |
| ポリエチレン | 73.0%~78.0% | (C ₂ H ₄) _x | (6)-1 | 既存 | 9002-88-4 |
| 珪酸シリカ(SiO ₂) | 15.0%~18.0% | O ₂ Si | — | — | 60676-86-0 |
| 酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃) | 2.0%~4.0% | Al ₂ O ₃ | (1)-23 | 既存 | 1344-28-1 |
| 他 (K ₂ O/Na ₂ O/CaO/Fe ₂ O ₃ 等) | 2.0%~5.0% | 特定できない | — | — | — |
| 石油系炭化水素及び添加剤 | 0.5%~3.0% | 特定できない | — | — | — |
| エチレンビスステアリン酸アマイド | 0.1%~0.2% | 特定できない | (2)-831 | 既存 | 110-30-5 |

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

鉱油(政令番号:168)(10%未満)
酸化アルミニウム(政令番号:189)(10%未満)

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
目の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

小火災:粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火剤。

使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性

大火災:散水、噴霧水、一般の泡消火剤。
棒状注水。
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。

保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

| | 管理濃度 | 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標) | |
|--|------|---|-------|
| | | 日本産衛学会 | ACGIH |
| ポリエチレン | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| ヴァイトリアスシリカ(SiO ₂) | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| 酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃) | 未設定 | 【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵 0.5mg/m ³ 総粉塵 2mg/m ³ | 未設定 |
| 他 (K ₂ O/Na ₂ O/CaO/Fe ₂ O ₃ 等) | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| 石油系炭化水素及び添加剤 | 未設定 | 未設定 | 未設定 |
| エチレンビスステアリン酸アマイド | 未設定 | 未設定 | 未設定 |

| | | |
|------|------------|--|
| 設備対策 | | 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 |
| 保護具 | 呼吸用保護具 | 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。 |
| | 手の保護具 | 保護手袋を着用すること。 |
| | 眼、顔面の保護具 | 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。 |
| | 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|-----------------------|----|------------|
| 物理状態 | | 固体 |
| | 形状 | ペレット又はフレーク |
| 色 | | グレー |
| 臭い | | 製品特有の臭気 |
| 融点／凝固点 | | データなし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | | データなし |
| 可燃性 | | 可燃性 |
| 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 | 下限 | データなし |
| | 上限 | データなし |
| 引火点 | | データなし |
| 自然発火点 | | データなし |
| 分解温度 | | データなし |
| pH | | データなし |
| 動粘性率 | | データなし |
| 溶解度 | | 水に不溶 |
| n-オクタノール／水分配係数(log 値) | | データなし |
| 蒸気圧 | | データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | | データなし |
| 相対ガス密度 | | データなし |
| 粒子特性 | | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | | |
|------------|--|--|
| 反応性 | | 強酸化剤と反応する。 |
| 化学的安定性 | | 通常の保管および取扱いの条件においては安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | | 過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。 |
| 避けるべき条件 | | 情報なし |
| 混触危険物質 | | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | | 熱分解又は燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、刺激性あるいは有毒なフェームやガス及びケイ素酸化物、アルミニウム酸化物、カリウム酸化物、ナトリウム酸化物、カルシウム酸化物、鉄酸化物のフェームを発生する。 |

11. 有害性情報

| | | |
|------|----|-------------------------------------|
| 急性毒性 | 経口 | 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。 |
|------|----|-------------------------------------|

| | |
|-------------------------------------|--|
| 経皮 吸入 | データ不足のため分類できない。 (急性毒性(吸入:気体)) GHS定義による気体ではない。 (急性毒性(吸入:蒸気)) データ不足のため分類できない。 (急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)) 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。 |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 区分1A:酸化カリウム(K ₂ O)(出典:Registered substances (ECHA)) 区分1B:酸化ナトリウム(Na ₂ O)(出典:Registered substances (ECHA)) 区分2:酸化カルシウム(CaO)(出典:NITE) (区分1+1A+1B+1C)×10の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。 |
| 眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性 | 区分1:酸化カルシウム(CaO)(出典:NITE), 酸化カリウム(K ₂ O)(出典:Registered substances (ECHA)) 区分2:酸化マグネシウム(出典:NITE) 10×(眼区分1+皮膚区分1)の成分合計が濃度限界(10%)以上のため、区分2Aに該当。 |
| 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 | データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。 |
| 生殖毒性 | (生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回 ばく露) | 区分1:酸化カルシウム(CaO)(臓器=呼吸器 出典:NITE), 酸化鉄(Fe ₂ O ₃)(臓器=呼吸器 出典:NITE) 区分3:酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃)(臓器=気道刺激性 出典:NITE), 酸化マグネシウム(臓器=気道刺激性 出典:NITE) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないが毒性未知成分が濃度限界以上なので分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(反復 ばく露) | 区分1:酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃)(臓器=肺 出典:NITE), 酸化カルシウム(CaO)(臓器=呼吸器 出典:NITE), 酸化鉄(Fe ₂ O ₃)(臓器=呼吸器 出典:NITE) 酸化アルミニウム(Al ₂ O ₃)≥1%のため、区分2(肺)に該当。 |
| 誤えん有害性 | データ不足のため分類できない。 |

12. 環境影響情報

| | |
|----------------|-------------------------------------|
| 生態毒性 | |
| 水生環境有害性 短期(急性) | 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。 |
| 水生環境有害性 長期(慢性) | 分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。 |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壌中の移動性 | 情報なし |

| | | |
|------------------------------------|---|---|
| オゾン層への有害性 | | データ不足のため分類できない。 |
| 13. 廃棄上の注意 | | |
| 残余廃棄物 | | 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 |
| 汚染容器及び包装 | | 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |
| 14. 輸送上の注意 | | |
| 国際規制 | Regulatory Information by Sea Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code | Not dangerous goods Not applicable Not applicable |
| 国内規制 | Regulatory Information by Air 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質 | Not dangerous goods 非該当 非危険物 非該当 非該当 |
| 特別の安全対策 | 航空規制情報 | 非危険物 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 重量物を上積みしない。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | | なし |
| 15. 適用法令 | | |
| 化学品にSDSの提供が求められる3法令の該非 | | |
| 労働安全衛生法(通知対象物質) | | 該当 |
| 毒物及び劇物取締法(毒物・劇物) | | 非該当 |
| 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 | | 非該当 |
| 適用される主たる国内法令 | | |
| 労働安全衛生法 | | 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(酸化アルミニウム) |

水質汚濁防止法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(鉱油、酸化アルミニウム)

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)(酸化アルミニウム)

16. その他の情報

連絡先

参考文献

免責事項

株式会社星プラスチック

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。